

1 はじめに

地方議会会議録は全国の地方自治体の議会の議事録である。現在、9割以上の自治体でネットに公開され、誰もが閲覧でき、検索も可能となっている。会議録は発言した通りに記録されるため、議員の方言の発言が記録されている。ネット上の地方議会会議録を使えば、一気に全国方言調査も可能となる。この地方議会会議録を使った方言研究を紹介する。

なお、以下において掲出したサイトの最終閲覧日は原稿提出日である。

2 地方議会会議録概要

- ・2010年の段階で、都道府県議会は100%、市・区議会は95%以上で会議録がネット上に公開されている（高丸・木村・渋谷2011）。
- ・多くの自治体で全文検索システムが導入され、発言者・キーワードなど、様々な検索ができる。
- ・議会中継録画をネット配信している議会も増えている。
- ・議員の87.6%が現在居住する都道府県で生まれ育っている（竹安(2004)）。
- ・会議録は、議会における発言が原則、発言した通りにすべて掲載される。「会議録は発言を正確に記録するので、方言も原則としてそのまま記録」（野村・鶴沼1996）されている。
- ・ただし、そのまま文字化すると読みづらい表現等は正文の過程で修正される。正文による修正はフィラーの削除が多い。高丸(2011)によると、正文により追加・削除・置換された文字数は会議録100文字あたり平均約11文字であり、うち、フィラーの削除が53.4%を占める。正文の具体例では、フィラー削除以外には、省略した名称や単位の補完、言い間違い、言い直し、繰り返し等の削除、くだけた口語表現の修正などが行われている。
- ・方言形では、「すんだんべな」（那須塩原市議会）は「するんだべな」と方言形が部分的に正文されている。また、「うちさ出さねえで」「いるんだはんで」（弘前市議会）はそれぞれ、「うちに出さないで」「いるのだから」と共通語形に正文されているが、同じ発言中の「おめほうに」は正文されていない。以上から、方言形がすべて共通語形に正文されることはないものの、正文する過程で方言形の一部が修正される場合もある。

3 地方議会会議録を方言研究に利用する際の利点

- ・すでにネットに公開された資料であるので、誰でもすぐに利用が可能である。
- ・現地に行かずとも、全国の方言調査が可能である。文脈からの研究も可能である。
- ・話し言葉の文字資料であり、それがすでにデジタル化され、検索もできる。
- ・議員のほとんどは地元出身で、議員HP情報なども利用すれば、話者情報も入手可能である。
- ・場合によっては、録画資料による音声も確認できる。
- ・今後も資料が増えていくことが約束されている。

4 地方議会会議録を方言研究に利用する際の注意点・問題点

- ・議会ごとに会議録公開の範囲や公開開始時期が違う。よって、単純な全国比較はできない。

- ・ 整文で、方言が修正される可能性がある。録画がある場合は、確認の作業を行う必要がある。
- ・ 議会という、やや特殊な条件での話し言葉資料である。くつろいだ場面での親しい人の会話ではない。
- ・ 議員ということから、どうしても年配の男性の言語資料が多くなる。
- ・ 多くの議員は共通語で話しており、方言が頻出するとは限らない。
- ・ 方言が出やすい条件がある。本会議よりは委員会、冒頭代表質問よりはそれ以降の質疑応答場面、さらに問題が紛糾する場面、そして、年配男性議員の方が、方言が出やすい。
- ・ 検索結果の扱いに注意する必要がある。例えば、特定議員が口癖のように使用している場合がある。また検索の仕組みも異なるので、検索結果が2例とでも、その2の意味が議会ごとに異なることがある。

5 どんな研究が考えられるか

- ・ 気づかない方言の研究ができる。地方議会会議録ならではの方言研究である。
- ・ 議会という特殊な条件でも出現する方言（根強い方言）、特殊な条件だからこそ出現する方言（セミフォーマル）の研究ができる。
- ・ 単に使用数だけでなく、文脈や状況をふまえての方言研究（原因・理由の表現など）が可能になる。
- ・ （方言ではないが）敬語の研究もできる。議員だけでなく、行政側発言にも注目すれば、資料は多くなる（例「させていただく」）。

6 議員の方言を含む発言例 実際の例を1つ示す。下線が西日本方言・福岡方言の例

これは何人ぐらい、もう 70 になったら年金ももらいよるから、働きたくないという人は多かろうと思うとですよね。（中略）そういう人たちをどんどん首にしよるじゃないですか。そういう人は、やっぱりいつまでもおってもらわないかんですよね。（中略）そういうことがないようなあれにしないと、これは 70 以上になって働けと言ったら、僕が知っている範囲では、医者は 90 まででも働きよる人いっぱいおりますたいね。私もときどき医者しよります。

（2011 年 11 月 福岡県議会 厚生労働環境委員会 YT 議員 80 歳）

7 関連情報

- ・ 地方議会会議録研究を進める木村泰知氏（小樽商科大学）が中心となり、「地方議会コーパスプロジェクト」（<http://local-politics.jp/>）研究が進められている。47 都道府県議会会議録検索（2015-2019）システム「ぎ〜みる」（2011～2015）は、以下に示すような利点を持つ検索システムである。「47 都道府県」および「東京 23 区」の 4 年間分の検索が一気にでき、しかも自動で地図化も行ってくれる。横断検索が可能となるには、会議録の用語や形式の統一、名称に点検（思わぬミスがもとの会議録には存在する）を膨大な時間と労力をかけて整える必要がある。それら成し遂げて、研究の利用に耐えうる検索システムとなっている。
- ・ 増山幹高氏（総合政策研究大学院大学）の比較議会情報プロジェクト（www3.grips.ac.jp/~clip/）では、国会審議映像検索システム・地方議会審議映像検索システム（試行版）が構築され、例え

ば、調べたいキーワードが出現する議会の該当録画場面がヒットするシステムができている。

・松田（2008）は国会会議録の研究である。共通語を対象に研究することが考えられるが、もちろん、方言の研究も可能である（例 開催の意味での「あっている」）。

8 最後に

地方議会会議録はネットに情報が公開され、資料がデジタル化され、検索も可能な便利な資料である。便利なだけに、それに頼りすぎたり、もとの会議録を点検することを疎かにしてしまうかもしれない。しかし、研究の際には、ぜひもとの会議録に立ち返ることを心掛けてほしい。もとの資料を見ることが、新たな発見につながることも多いと考えている。

参考文献

高丸圭一（2011）「規模の異なる自治体における地方議会会議録の整文の比較」『社会言語科学会第27回研究大会講演論文集』256-259.

高丸圭一・木村泰知・渋谷英潔(2011)「全国の市町村議会会議録のウェブ公開とデータ提供の状況」『都市経済研究年報』11、47-72.

竹安栄子(2004)「地方議員のジェンダー差異」『京都女子大学現代社会研究』7、99-118.

二階堂整・川瀬卓・高丸圭一・田附敏尚・松田謙次郎（2015）「地方議会会議録による方言研究—セミフォーマルと気づかない方言—」『方言の研究』1 299-324 ひつじ書房

野村稔・鶴沼信二（1996）『地方議会実務講座 第3巻』東京：ぎょうせい.

松田謙次郎（編）（2008）『国会会議録を使った日本語研究』東京：ひつじ書房.

（2020年6月29日）